

# 久保 駿太

高70期

京都大学薬学部在籍



## ■在校生へのメッセージ

在校生には申し訳ないのですが、単刀直入に言わせてもらいます。

『僕は生野高校が好きではありません、むしろ嫌いです。』

なぜそんな僕がこうして在校生にメッセージを送っているのか、それは現在の生野高校に何も考えずに満足してしまっている人に、学校教育を見つめなおす機会を与えなかったからです。

もちろん生野高校で友達と過ごした日々はかけがえのないものではありませんでした。だから生野高校の学生環境は素晴らしかったと思います。しかし生野高校の校風に僕は批判の念を抱いています。

生野高校はこの度、100周年を迎えるという事なので、100年間積み上げてきた『真面目な校風』という『伝統』があります。この『真面目』を重んじる伝統こそが進学実績の低迷している生野高校が他の進学校に優位性を保つために“すがっている”最後の柱であり、生野高校の進学実績低迷の真の原因であると僕は考えています。

はっきり言って、今の受験教育に学校の教育は必ずしも必要ではありません。学校はあくまでも『人間教育の場』であり『受験教育の場』ではないのです。そして、生徒が受験を成功させるのに最適な勉強を学校では提供できません。そのことに真に気付かず、あくまでも学校教育（授業や提出物など）が一番だと言い張る教師が多すぎる。それが僕の見てきた生野高校です。『伝統』に縛られて柔軟な発想を失っている現在の校風こそが“自称進学校”と呼ばれる所以でしょう。

人生を決める大学受験。そんな大切なものを生野の『伝統』というしがらみに囚われて無下にしてしまっている生徒は数多くいるはずですが、少なくとも僕はそのことに気づき、学校教育のしがらみから抜け出して、急激に成績を伸ばしました。学校教育を当然のものとして捉えるのではなく、批判的な目で本質を見極めてください。

僕がみなさんにできるのは、立ち上がる機会や勇気を与えることまでです。

Let's think.

## ■プロフィール

京都大学薬学部 在籍

高3時に受けた模試は全て理系総合学年1位 最高校内偏差値87.2

第三回全統マーク模試 理系全国1位

2018年度第二回京大実践模試 数学全国1位 偏差値98.6

など学校教育を完全否定する態度を示しながらも数多くの結果を残すことで周囲に影響を与え、柔軟な発想を共有できた当時の担任小田善治先生の力もあり、彼の所属していた3年9組は近年稀に見る素晴らしい進学実績を残した。

現在はその知識や経験を活かし、オンライン家庭教師として個別授業はキャンセル待ち2年以上と人気を博している。また、学校教育の現状を打破すべく独自の勉強観に基づくブログを毎日発信している。

オンライン家庭教師HP

<https://www.kul-online-tutor.com/>

全国1位の勉強ブログ

<http://no-homework.com>